

災害医療対策について

健康危機対策課

災害医療対策の概要

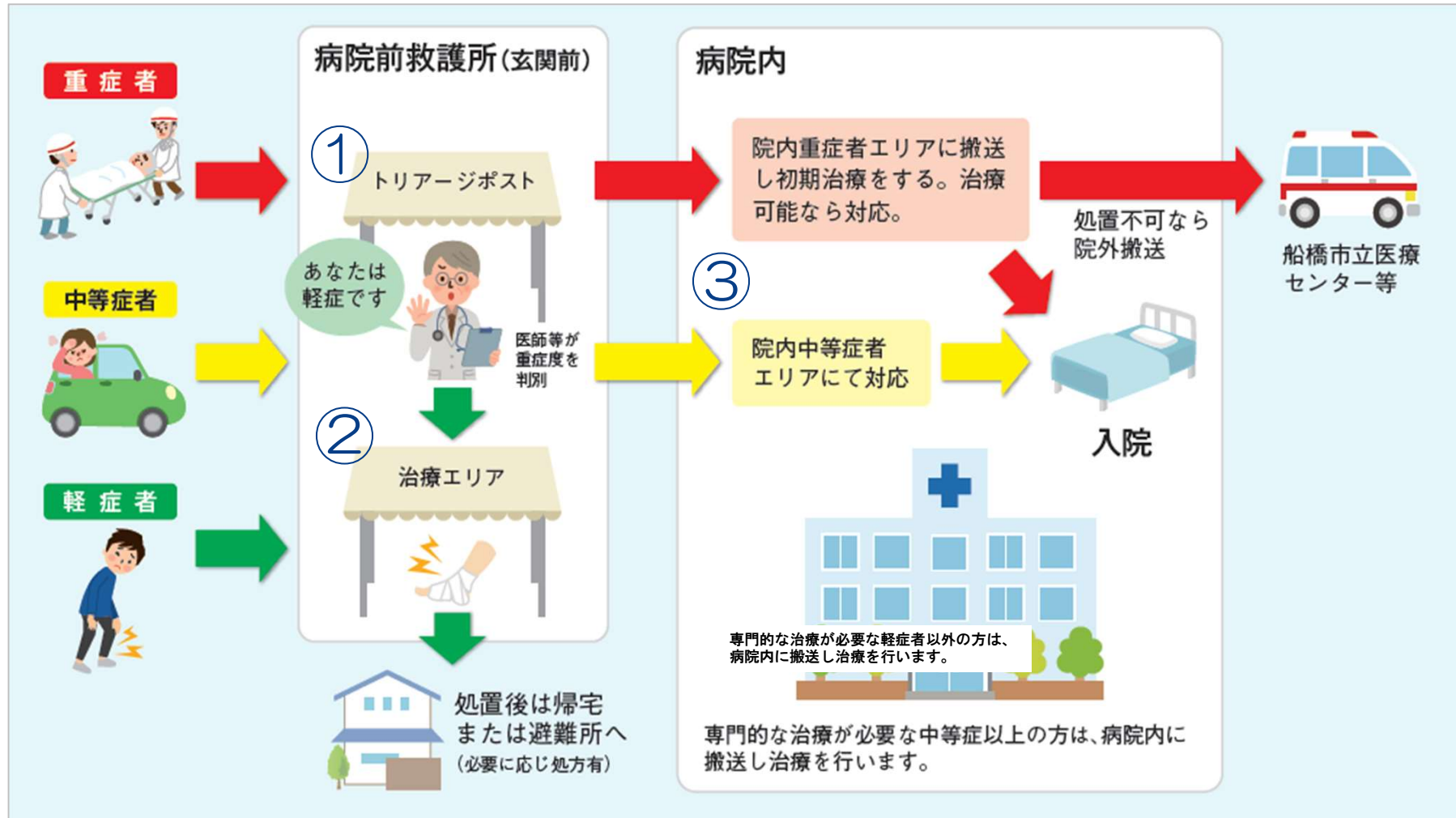
災害時により多くの市民へ適切な治療等を提供できることを目指し、船橋市地域災害医療対策会議や各種訓練を実施。

【発災～48時間程度の医療提供体制】

- 市内で震度6弱以上の地震が発生した際、市内9ヶ所の災害医療協力病院前に病院前救護所を設置。
- 病院前救護所では、負傷した方をトリアージし、軽症者はその場で治療、中等症者及び重症者は災害医療協力病院内で治療（重症者は状況により市立医療センターへ搬送）

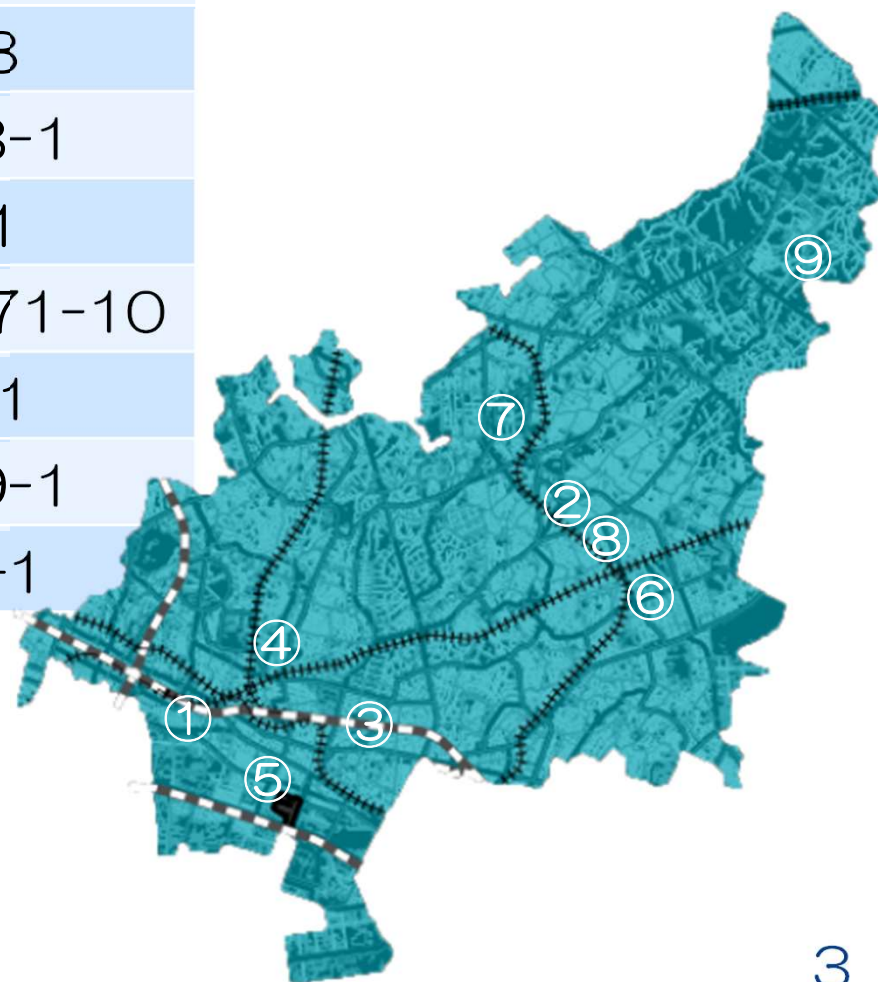
病院前救護所の主な活動内容

- ① トリアージ ② 軽症者への応急処置 ③ 軽症者以外の院内での治療



病院前救護所の設置場所

病院名	住所
①船橋中央病院	海神6-13-10
②千葉徳洲会病院	高根台2-11-1
③青山病院	市場4-21-8
④船橋総合病院	北本町1-13-1
⑤板倉病院	本町2-10-1
⑥北習志野花輪病院	習志野台2-71-10
⑦船橋二和病院	二和東5-1-1
⑧東船橋病院	高根台4-29-1
⑨セコメディック病院	豊富町696-1



今年度の主な取組み

【訓練】

- 1 病院前救護所設置・運営訓練
- 2 災害医療対策本部運営訓練

【会議】

- 3 災害医療協力病院及び保健所意見交換会
- 4 災害医療対策会議医療部会
- 5 災害医療対策会議

【その他】

- 6 衛星通信機器（スターリンク）の導入
- 7 病院前救護所の周知
- 8 新EMISの訓練

1 病院前救護所設置・運営訓練

【実施状況】

		青山	北習志野花輪	船橋総合	セコメ ディック
日付		10月25日	11月22日	11月30日	3月7日 (予定)
参加者	病院職員	37名	83名	70名	50名
	医師会	10名	4名	6名	8名
	歯科医師会	—	—	—	2名
	薬剤師会	3名	2名	2名	2名
	柔道整復師会	2名	2名	2名	2名
	市職員	36名	28名	14名	30名
	災害協力薬局	1名	1名	1名	1名
	看護職ボラ	0名	2名	—	1名
	地域住民	—	14名	—	—
	協力病院(見学)	11名	8名	—	4名
合計	100名	144名	95名	100名	
トリアージ数		20例	50例	22例	20例

1 病院前救護所設置・運営訓練

【青山病院】



(トリアージポスト)



(緑 (軽症) エリア)



(院内災害対策本部)



(災害協力薬局)

2 市災害医療対策本部運営訓練

【実施状況】

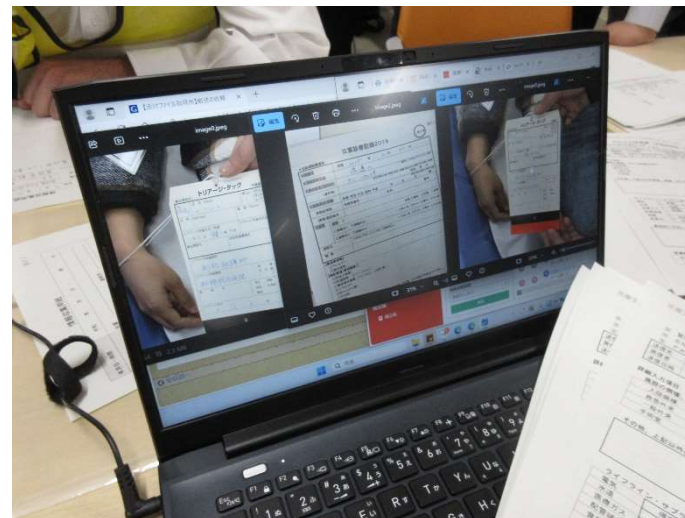
		11月30日 (四師会参加)	1月30日(予定) (市職員のみ参加)
参加者	医師会	3名	—
	歯科医師会	2名	—
	薬剤師会	2名	—
	柔道整復師会	2名	—
	市職員	32名	57名
	合計	41名	57名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療対策本部会議 ・班活動 ・船橋総合病院前救護所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市災害対策本部との連携 	

2 市災害医療対策本部運営訓練

【1 1月】



(災害医療対策本部会議)



(重症者の転院調整)



(班活動①)



(班活動②)

3 災害医療対策会議

令和8年3月26日（木）（予定）

【委員】

医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、災害医療コーディネーター、市立医療センター、自治会連合協議会、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、助産師会、警察、陸上自衛隊、消防団

【内容】

- 令和7年度の活動実績
- 令和8年度の取組み

4 災害医療対策会議医療部会

令和7年 7月23日（水）

令和7年12月18日（木）

【委員】

医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、
災害医療コーディネーター、市立医療センター

【内容】

- 市災害医療対策本部に関すること
衛星通信機器（スターリンク）の導入 など
- 病院前救護所に関すること
病院前救護所の周知 など
- その他
EMIS代替サービスの訓練 など

5 災害医療協力病院及び保健所の意見交換会

令和7年6月25日（水）

【参加者】

災害医療協力病院（20名）、災害医療コーディネーター（1名）、市立医療センターDMAT（3名）、市健康危機対策課（6名）

【内容】

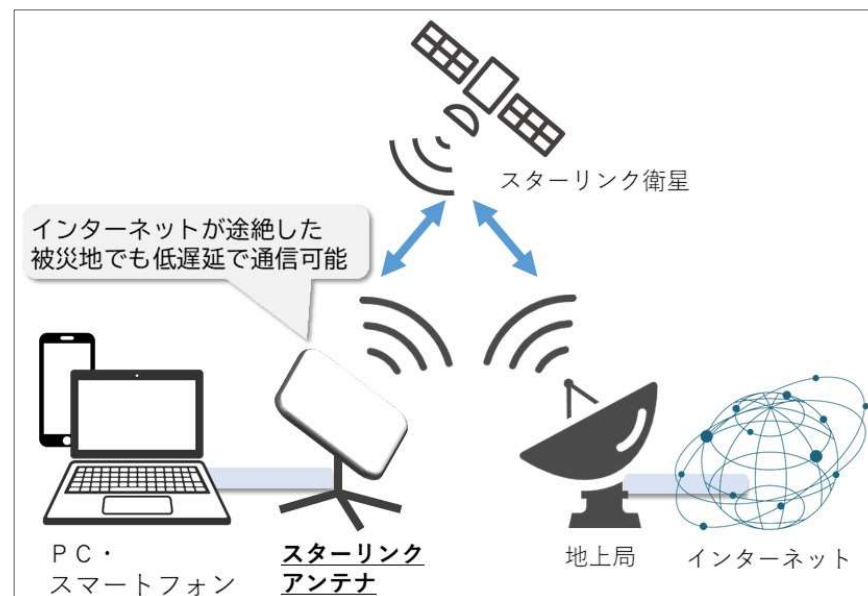
- 衛星通信機器の能登半島地震での活用方法
- 昨年度の災害医療に係る訓練の取組状況
- 令和7年度の病院前救護所訓練
- 院内災害対策本部の設置と運営
- 災害医療対策担当者のネットワーク活用

6 衛星通信機器（スターリンク）の導入

災害の発生等に伴うインターネット回線の断絶時でも医療機関と円滑に情報共有できるよう、人工衛星を活用した衛星通信機器（スターリンク）を、本年10月から保健福祉センター、市立医療センター、災害医療協力病院（9ヶ所）の計11ヶ所に導入。災害時の救護所となる医療機関への導入は県内初。



（スターリンクアンテナ）



（スターリンクの仕組み）

7 病院前救護所の周知

令和2年に実施した病院前救護所への体制変更から5年が経過したことを受け、改めて市民に向けて周知を実施。

周知方法	実施月
四師会会員機関へのポスター掲示依頼（約750機関）	7月～
広報ふなばし掲載	9月1日号
デジタルサイネージ（市本庁舎・船橋駅前歩道橋）	9/1～9/30
イオン高根木戸店でのポスター掲示	9/1～9/30
出前講座（豊富地区・本中山地区）	9月・1月（予定）
健康まつりでのポスター掲示	11月
X（旧Twitter）	3月（予定）

今後ともこれまでの周知方法に加えて、新たに効果的な周知方法を検討していく。

8 新EMISの訓練

【目的】

災害時には、広域災害救急医療情報システム（EMIS）により医療機関の被害状況等を収集するが、本年4月から新EMISが運用開始されたため、入力訓練を実施。

【実施日】

令和7年9月10日（水）

【対象機関】

市内全22病院

【結果】

入力数：22

全病院がログイン～被害状況の入力を実践。

今後の主な取組み

- 福祉との連携
支援調整体制の検討
- 市内全病院の医療提供体制
各病院ごとに強みや専門としている医療分野で役割を果たしてもらえそうな働きかけをしていく
- 復旧期以降の医療提供体制
病院以外の医療機関による診療体制の検討